

令和4年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 策定・管理委員会 書面報告に対する意見等

意見・質問	担当課	意見に対する回答・見解
<p><b>【資料2について】</b>                      コロナ発生時より、通所系サービス減少に対し、訪問系サービスは増加していることが読み取れます。ショート利用者は特に減少著しくR3年度は60%台と減少していることがわかります。</p> <p>①初回、ショート利用しづらい現状もあるようです。問い合わせると、コロナ禍のため、新規利用は中止している等の返答もあり、利用しづらい（利用できない）現状です。市の方もこのような現状を把握されていますでしょうか？</p> <p>②ショート入所受付時のPCR検査等に対する補助等の検討はしていただけないでしょうか。病院は入院時には検査実施後入院させているようです。</p> <p>③また、介護者が陽性になった場合、同居の要介護者の受入先も全くな（濃厚接触者）現場は非常に困っている現状があります。コロナ禍での対策を何か検討していただきたい。</p>	<p>介護保険課・長寿あんしん課</p>	<p>①【介護保険課】                      コロナ禍におけるショートステイの利用については、事業所から利用者が自粛される等のケースがあることを聞いており、現状は把握しております。</p> <p>②【長寿あんしん課】                      PCR検査等に対する補助等は行っていないところです。</p> <p>③【介護保険課】                      ご意見いただきましたコロナ禍での対策につきましては、濃厚接触者（利用者）に対応した事業所等を対象に必要な介護サービスを継続し、通常の介護サービス提供時では想定されない掛かり増し経費を補助する鹿児島県の「介護事業所等サービス継続支援事業」の活用が考えられるため、本市においても事業所へ制度周知するよう努めてまいります。</p>
<p><b>【策定・管理委員会の委員任命について】</b>                      この会議が形骸化しないために、根本的に見直す必要がある。各団体の宛て職ではなく、高齢者医療、介護、福祉などの現場で展望を持った効果的な施策ができる人材を厳選するべきだと考える。</p>	<p>長寿支援課</p>	<p>本計画の策定・管理委員会の委員は、学識経験者や市民の代表のほか、保健医療関係や福祉関係団体などから推薦をいただいた方を任命しており、それぞれの分野の活動経験等に基づく多様なご意見を頂いているところです。今後におきましても、各面からご意見を頂けるような委員会運営に努めてまいります。</p>
<p><b>【友人の実情について】</b>                      老々介護により、妻一人では介護できなくなり、娘が介護離職をして一緒に認知症の夫の介護をしている。当事者は「①認知症の方々が世間に隠さず生活できる地域づくり。②身近な地域の中に、夫婦と一緒に気軽に行けるコミュニティの居場所があること。」を要望されているがどのように考えるか。</p>	<p>認知症支援室</p>	<p>認知症の人やその家族の方々をはじめ、一般の人など誰でも集える認知症カフェを開設している団体が市内に26ヶ所（R4.9月現在）あり、お茶等を飲みながら気軽に集える居場所となっています。</p> <p>また、国の認知症施策大綱では、認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（チームオレンジ）を地域ごとに構築することを目指しており、本人の参加等を原則としていることから、本市においてもこうした体制づくりに取り組むこととしております。</p>
<p><b>【介護問題（認知症支援）について】</b>                      後期高齢者では、MCIを含めると、1/3の人に認知機能障害があるとされ、介護問題は明日は我が身である。官民一体型で垣根を越えた本市独自のプロジェクトを立ち上げ、地域支援のガイドラインの作成ができれば、介護保険事業のすき間を埋めることができると考える。</p>	<p>認知症支援室</p>	<p>認知症が疑われる人または認知症の人の内、医療や介護保険サービスを受けていない人などを対象として、複数の専門職が早期に訪問し、専門医の指導・助言のもと、初期の支援を包括的・集中的に行う「認知症初期集中支援推進事業」を実施しており、早期診断や自立支援に向けた支援を行っております。</p>

令和4年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 策定・管理委員会 書面報告に対する意見等

意見・質問	担当課	意見に対する回答・見解
<p>高齢者の保健福祉の推進は、①健康寿命の延伸（元気な人はますます元気で）②要介護者及び介護する人への支援（住み慣れた地域で、地域の互助も含め）③権利の保証（成年後見制度の利活用）などが柱と思いますが、それらを細やかにバランスよく施策としてまとめていると思います。</p> <p>特に①と②をつなぐ試み、元気な人がボランティア等で要介護者につながる仕組みは互助を後押しする仕組みと思われました。</p> <p>コロナで、思うに任せずという側面もあろうかと存じますが、引き続きよろしく願います。</p>	<p>—</p>	<p></p>
<p><b>【ひとり暮らし高齢者等安心通報システムについて】</b></p> <p>ひとり暮らし高齢者等に多い事例として、夜間にトイレに起きた際の転倒があるが、押しボタン式の通報システムは役に立たない。現在は、暗視カメラで人の動きを確認するセンサーがあるので、そういうシステムも検討していただきたい。</p>	<p>長寿支援課</p>	<p>現在のひとり暮らし高齢者等安心通報システムの装置には、押しボタン方式のほか、居間や廊下などで赤外線センサーにて人の動きを一定時間（基本設定では12時間）以上感知しない場合に通報される装置があり、これらの装置以外にもペンダント（握ることで通報される）や火災感知センサー、見守りケータイ（ボタンを押したりストラップを引くことで通報される）を利用者の選択により設置できることとしております。</p> <p>ご意見にある暗視カメラを用いる装置については、今後、情報収集してまいります。本市では、生活保護受給者など後見人等への報酬負担が困難な方を対象に助成制度を設けており、成年後見制度を利用いただいております。今後も本助成制度の周知に努めてまいります。</p>
<p><b>【成年後見制度利用促進について】</b></p> <p>生活保護受給者は身元引受人がいない方が多く、特養などの施設に入所しにくいことから、貧困ビジネスに巻き込まれるケースがある。生活保護受給者が必要な方には成年後見人をつけて財産管理できる状態になれば施設入所もしやすくなると思う。</p>	<p>認知症支援室</p>	<p>ご意見にある暗視カメラを用いる装置については、今後、情報収集してまいります。本市では、生活保護受給者など後見人等への報酬負担が困難な方を対象に助成制度を設けており、成年後見制度を利用いただいております。今後も本助成制度の周知に努めてまいります。</p>
<p><b>【特養の空所問題について】</b></p> <p>介護人材不足の問題ばかりが取り上げられているが、入所型の居宅サービス（ケアハウス、有料老人ホームなど）は要介護3になる前に利用できるため、利用者はそっちに流れており、そこから特養に移る人は少なく、今後数年のうちに特養は空所が多くなる。社会福祉法人（特養）が経営を維持できなくなることを懸念している。</p>	<p>長寿あんしん課</p>	<p>今後ますます増加する介護ニーズに対応していく上では、手厚いケアが必要な方を受け入れる特別養護老人ホームと、それ以外の方を受け入れる有料老人ホーム等の他の受け皿との役割分担が、これまで以上に重要になるものと考えております。</p>

令和4年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 策定・管理委員会 書面報告に対する意見等

意見・質問	担当課	意見に対する回答・見解
<p>【P6：家庭ごみの高齢者個別収集サービスについて】</p> <p>非常に有効な対策だと思いますが、現状での対象者の件数はどの程度でしょうか？また、どの程度認知されているのでしょうか？</p>	<p>清掃事務所</p>	<p>令和4年8月末で、利用世帯数は754世帯、利用者数842人。</p> <p>これまで「市民のひろば」（年2回）や市ホームページへの掲載、収集車両へのステッカー貼付、ポスター・チラシの介護保険事業所への送付などをしてきたところです。毎月20件を超える申請があることから、一定の認知はされてきているものと考えます。</p>
<p>【P9：ABC消費者情報ネットがごしま事業について】</p> <p>見守り者へのメールマガジン利用を促進し、迅速かつ効果的な情報伝達を図るとありますが、このような被害の対象になりそうな高齢者で、そもそもメールを利用している方はどれほどいるのでしょうか？情報伝達の効果の確認は出来ているのでしょうか？</p>	<p>消費生活センター</p>	<p>プッシュ型の情報伝達手段の一つとしてメールマガジンの配信を行っており、65歳以上の登録者は約340人となっております。登録者からは最新の消費者被害の情報が分かるなどの声が寄せられているところですが、今後とも登録者の増加を図り、消費者被害の未然防止に努めてまいります。</p>
<p>良質なサービス確保のため、未届高齢者向け住宅や未届有料老人ホーム等へ届出を促進していただいたり、立入検査をしていただけることは非常にありがたいです。高齢者向け住宅や有料老人ホームの施設の数、入居者数、食事の内容を含めたケアの質の把握をお願いします。</p>	<p>長寿あんしん課・指導監査課</p>	<p>届出のある有料老人ホームに対しては、長寿あんしん課及び指導監査課が立入検査を行い、鹿児島市有料老人ホーム運営指導指針に基づき必要な指導を行っております。</p> <p>引き続き、未届の有料老人ホームについて調査を行い、届出促進に努めるとともに、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の良質なサービス確保のため、指導監督を行ってまいります。</p>
<p>業務効率化の介護サービス事業者等による申請手続きの簡素化について引き続きお願いすると同時に、YouTubeでの資料説明やZoomなどを活用してのオンライン開催に今後も積極的に取り組んでいただければ人材不足の観点からも安心して参加しやすくなります。</p>	<p>長寿あんしん課</p>	<p>現在、厚生労働省において、介護サービス事業所の指定申請等の提出について、厚生労働省が運用する「介護サービス情報公表システム」の機能拡張を行い、指定申請機能等のウェブ入力・電子申請を可能とすることで対面を伴わない提出方法が検討されています。今年度の集団指導につきましては、昨年度と同様にオンラインによる開催となる予定です。</p>
<p>市で高齢者施設など増やしていく計画があるのであれば、介護人材確保のため、もっと強力な行政施策に取り組んでいただきたい。今現在、既存の施設でも介護人材確保に苦慮しています。市内の複数の施設で介護人材不足による空床化も起こっています。（高齢者数の把握だけでなく、生産年齢人口の把握、介護人材数の把握と予測）</p>	<p>長寿あんしん課</p>	<p>介護人材確保対策については、平成27年度から地域医療介護総合確保基金を活用して、各都道府県において、各種研修の開催、講師派遣や各種補助など様々な取組を行っており、積極的に活用していただきたいと考えております。</p> <p>また、本市においても、各種研修や講習会・人材確保に関する情報提供、処遇改善加算の取得促進などに取り組んでおり、随時ご案内を差し上げておりますのでご参照ください。</p>
<p>コロナの感染者が増える状況の中、高齢者施設も施設内クラスターや職員の感染、濃厚接触者の自宅待機などで大変な中、頑張っているところですが、もっとウィズコロナの現状を踏まえた新しい発想で、地域福祉がよりよくなっていくよう期待します。</p>	<p>—</p>	<p></p>

令和4年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 策定・管理委員会 書面報告に対する意見等

意見・質問	担当課	意見に対する回答・見解																																																																																											
<p>コロナ禍の中、高齢者のフレイルや認知機能の低下等が懸念されますが、計画を推進する上で特に工夫されている点や今後の取組みがありましたら教えてください。あるいは、新型コロナの感染拡大の中、高齢者の心身の状況に及ぼしている傾向等、把握されている課題や今後の事業展開に検討されているようなことがあれば教えてください。</p>	<p>保健予防課</p>	<p>本市では、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、「お達者クラブ」や「よかよか元気クラブ」等の通いの場等において、フレイル予防の普及啓発やフレイル状態にある高齢者を把握し、地域の健康づくりのリーダーやボランティア等の理解・協力を得て、介護予防の取組を推進いたしました。</p> <p>コロナ禍で「運動不足になった」、「人と話す機会が減った」等の声がきかれており、高齢者の閉じこもりや健康への影響が懸念されることから、今後も「アフターコロナ」の視点を踏まえ、介護予防活動を行ってまいりたいと考えております。</p>																																																																																											
<p>認知症サポーター養成講座の回数、養成数ともに、令和2年度は元年度に比べ半分以下に減少していますが、令和3年度は回数、参加人数共に若干の増加が見られ、令和4年度の見込み数は、コロナ前の数に近いですが、何らかの取組みの工夫があるのでしょうか。他県において、代替としてWeb形式を利用した講座を開催していましたが、鹿児島市においてWeb形式での実施や予定がありますか。</p>	<p>認知症支援室</p>	<p>定期的に開催している市民向け公開講座については、消毒や換気等、対策を徹底して集合形式で実施していますが、市民グループからの依頼を受けて、随時開催している養成講座については、インターネット環境が整った事業所等から希望があれば、web形式に対応しており、今年度は9月にweb形式で実施したところです。</p>																																																																																											
<p>チームオレンジの設置に向け、令和3年度から検討され、令和4年度も検討するとの計画になっていますが、進捗状況はいかがでしょうか。設置に向けて課題等がありますか。</p>	<p>認知症支援室</p>	<p>現在、国の認知症施策推進大綱等を参考として、チームオレンジの概要案の検討や地域包括支援センター及び関係課との協議等を行っており、今後は市域内に設置していく際の進め方やチームの立ち上げに向けた支援等への対応が課題であると考えています。</p>																																																																																											
<p>看護小規模多機能型居宅介護は、医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支えるサービスとして重要であり、需要も増えてきていると思います。</p> <p>利用人数の記載はありますが、実施事業所数や事業所の地域はいかがでしょうか。地域偏在がありますか。今後の見込み等も分かれば合わせて教えてください。</p> <p>(看護小規模多機能居宅介護事業所から、事業所間の連絡会を開催したいとの声が看護協会に寄せられました。)</p>	<p>長寿あんしん課・介護保険課</p>	<p>本市における看護小規模多機能型居宅介護事業所の圏域ごとの事業所数は、次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="1211 1075 1912 1254"> <caption>圏域ごとの事業所数及び登録定員</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>中央</th> <th>上町</th> <th>北池</th> <th>鴨池</th> <th>鴨池</th> <th>城西</th> <th>田上</th> <th>武上</th> <th>谷山</th> <th>中央</th> <th>谷山</th> <th>谷山</th> <th>谷山</th> <th>伊敷</th> <th>西伊</th> <th>吉野</th> <th>桜島</th> <th>吉田</th> <th>郡山</th> <th>松元</th> <th>喜入</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現存</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>休止</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>登録定員</td> <td>29</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>319</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度は、喜入圏域において新規指定を行いました。</p> <p>また、今後の整備については、第8期計画に基づき募集を行っているところです。</p>		中央	上町	北池	鴨池	鴨池	城西	田上	武上	谷山	中央	谷山	谷山	谷山	伊敷	西伊	吉野	桜島	吉田	郡山	松元	喜入	合計	現存	1	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	10	休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	登録定員	29	58	58	29	0	29	29	0	0	0	0	29	29	0	0	0	0	0	0	29	319
	中央	上町	北池	鴨池	鴨池	城西	田上	武上	谷山	中央	谷山	谷山	谷山	伊敷	西伊	吉野	桜島	吉田	郡山	松元	喜入	合計																																																																							
現存	1	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	10																																																																							
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1																																																																							
登録定員	29	58	58	29	0	29	29	0	0	0	0	29	29	0	0	0	0	0	0	29	319																																																																								